

(別紙様式1)

平成28年12月2日

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立新番丁小学校
学校長名 山本 修

公印
省略

平成28年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、標記事業を実施したので、報告します。

学 校 の 名 称	高松市立新番丁小学校
派 遣 内 容	「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう」
日 時	平成28年12月2日(金) 10:40~12:20
場 所	新番丁小学校 多目的室
対 象 者 数 参 加 人 数	児童数 133名 クラス数 6クラス(特別支援学級 2クラス) 教職員数 6名 その他()数 名
内 容 ・ 日 程 等	① 講話(45分) 内容…「气象台の仕事・大雨の災害・地震津波・大雨災害から身を守る方法」について ② 対話形式授業(45分) 急な大雨・雷・竜巻から身を守るためにどうすればよいか話し合う
取 組 に お け る 成 果	実際の災害の映像を交えての講話であったので、子どもたちが危機意識をもって講話を聞くことができた。 また、後半の話し合いでは、災害から身を守る方法をまず自分たちで考え話し合う活動があり、後で教えられた方法が子どもたちの心に強く印象づけられた。今後、子どもたちは「大気の状態が不安定」という天気予報を耳にしたら、出かけるときにきっと用心するであろうし、雷に対して誤った知識で判断していたことを改めるであろう。竜巻の怖さについても、実験の映像にインパクトがあり、避難の方法を強く心に刻むことができた。
今 後 の 課 題	前半の講話は、少し難しい内容もあったので、実際の映像・ビデオを見せながらの説明を増やしていただけると、より分かりやすくなる。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、添付してください。



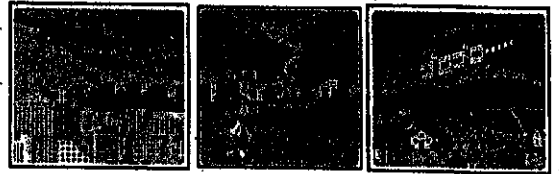
<講師紹介>

<どうすれば危険な目に
あわなかったかを話し合う>



<高松気象台の
職員から話を聞く>

DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」
これはあぶない！をみて



名前： _____

質問：なぜ、危険に巻き込まれてしまったのでしょうか？

公園で遊んでいた女の子たち



- ・早めにひな人をしなから、
- ・雷がなっているのにラジカセを取りに行らたから。(金属は、雷が落ちやすい)
- ・木の下にひな人をしたから。(雷が落ちやすい)

川の近くでいた男の子たち(橋の下・塾へ行く道)



- ・橋の下のように川の近くにひな人をしたから、
- ④洪水になっていたのに塾に行こうとしたから、

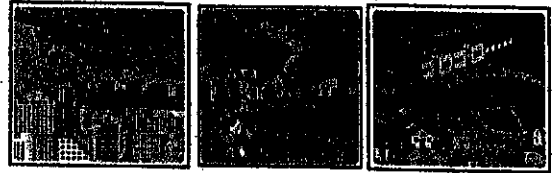
質問：「急な大雨」「雷」「竜巻」にあうとすれば、
自分ならどのようにして身を守りますか？

- ・空が暗くな、たら早めにひな人をする、
- ・安全な建物にひな人する。(家が近か、たら家に?)
- ・ひな人出来なかつたら頭を守る、
- ・金属をはずす、

感想：大雨や雷、竜巻など「自分だけは大丈夫」という考えをしないで、
すはやくひな人をして安全な建物に入るようにします、日々、命のために
備えることの大切さを学びました。



DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」
これはあぶない！をみて



名前： _____

質問：なぜ、危険に巻き込まれてしまったのでしょうか？

【公園で遊んでいた女の子たち】



○木の下で雨やどりした

○はやくにげなかった

○雲が見えていたのに、わざわざ外で練習した

【川の近くでいた男の子たち（橋の下・塾へ行く道）】



○橋の下に行きた。

○危険なのに塾へ行った。

⑤ ○わざわざしん水している道を歩いた。

質問：「急な大雨」「雷」「竜巻」にあうとすれば、

自分ならどのようにして身を守りますか？

大きい黒い雲が見えたときに、家に帰るか、近くの建物（安全な場所）
にひそむ。

感想：

いつ地震、津波などがきてもおかしくないから、
今日をきっかけに「自分の身は自分で守る」ように、みんな戸外のか
くにんなどをしようと思う。



DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

これはあぶない！をみて

名前： _____



質問：なぜ、危険に巻き込まれてしまったのでしょうか？

【公園で遊んでいた女の子たち】

天気が急に変わり始める危険だと言われていたのに、女の子

たちは、まだ雨や風が少ししか起こっていないから、油断していたから。また雷がおこっていたのに木の下にいて危ない。家にすぐ帰らなかった。



【川の近くでいた男の子たち（橋の下・塾へ行く道）】

雨が少しふっていたけれど、橋の下に雨宿りしていたか

ら、みんな別々に行動していたから、ひなんする場所が低い場所。道路の水位が低かったのをいいことにわたっていたから。



質問：「急な大雨」「雷」「竜巻」にあうとすれば、

自分ならどのようにして身を守りますか？

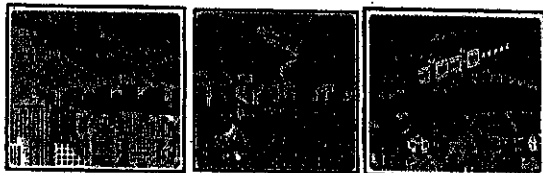
近くにある建物やひなん場所にすぐひなんする。油断せず、危険だと思、たらすぐひなん。木の下や、橋の下などは絶対に建物の中にひなん。

まだいけると思わない。

感想：自分は大丈夫だとはほけして思わず、天気がとつ然かわ、たら適切な判断をし、いつも身のまわりはどこにひなん場所や危険な場所があるのか知っておこうと思、た。



DVD「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」
これはあぶない！をみて



名前： _____

質問：なぜ、危険に巻き込まれてしまったのでしょうか？

公園で遊んでいた女の子たち

とても大きく暗い雲が見えたのに、
けがはなかったから



・大雨が木に雨やどりしに行っていたから

④ 雷が鳴る音が聞こえなかったから、そばで遊ぶことにしていたから

川の近くでいた男の子たち（橋の下・塾へ行く道）

雨かみ、ているにも雨が降らずに、川の近くの橋の下



雨やどりをしていなかったから。洪水しているのに、水が低いからと高たゆがっていたから

3つとしたから。④ 川の水が増えたのに、けがはなかったから

質問：「急な大雨」「雷」「竜巻」にあうとすれば、
自分ならどのようにして身を守りますか？

すぐに近くのたてものにはいる

・早めの避難をする、水の近くからはなれる

・あせらずに行動する。暗く大まな雲が見たらすぐに逃げ

・大じょうぶとゆう心をする

感想：今日 2時間勉強して、地震、積乱雲、
雷などの自然災害について改めて備える大切さ
を学びました。これから、災害の少ない香川県だからと、
災害があつたときに注意して行動したいです

